

境町に安心して暮らすために知るべき

広域避難



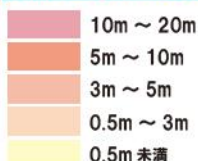
群馬県や栃木県等の上流域で大雨が降り続くと、利根川や渡良瀬川の氾濫のおそれが高まり、ひとたび氾濫すると流域全体が大災害となります。

→ 詳しくは6-7ページの「水害から命を守るために」へ

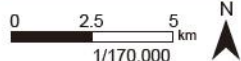
利根川や渡良瀬川が氾濫すると…

関東・東北豪雨
での鬼怒川の氾濫
よりも
**大きな
被害**

利根川や渡良瀬川の
**流域全体が
大災害**



このマップは、利根川、渡良瀬川、思川浸水想定区域図（想定最大規模）に基づき作成しています。



犠牲者「ゼロ」を目指して



利根川が氾濫しそうなとき、「いつ、どこに逃げたらいいのか」地区ごとに避難のタイミング、避難場所などを分かりやすく一つにまとめた「逃げどきマップ」が完成し、この度、皆様のお手元にお届けできることとなりました。

境町では、平成27年の関東・東北豪雨災害において1名の尊い命が奪われ、内水氾濫により町内全域に甚大な被害をもたらしました。もし利根川が氾濫したら、町の90%以上が浸水し、この水害以上の大規模な被害が発生します。このため、全町あげて「広域避難」対策を喫緊の課題として取り組み、ハード・ソフト両面にわたり対策をとってまいりました。

本ハザードマップでは、「自らの命は自ら守る」ことを最も重要なポイントと定め、危険が迫る前に「自らの意思」で自主的に「広域避難」することを推奨しています。

更に「浸水被害にあった地域を先ず先に避難させる」等、災害の教訓を踏まえるとともに、平成29年7月公表の新たな利根川、渡良瀬川浸水想定区域図を反映して作成しています。

各地区では、浸水の仕方、逃げ方が異なります。本ハザードマップは皆様がお住まいの地域の水害特性を記載しています。ご家族で、各行政区で、地域一体となった避難行動について話し合い、逃げ遅れによる犠牲者「ゼロ」を目指してマイマップ、マイタイムライン作成等の防災活動にご活用いただければ幸いです。

本ハザードマップの完成にあたり、東京大学大学院情報学環 特任教授 片田敏孝先生に監修を頂きました。片田先生には、防災アドバイザーとして2か年にわたり広域避難プロジェクト事業を指導を頂きました。この場を借りて感謝とお礼を申し上げます。



平成31年4月吉日 境町長 橋本 正裕

あなたと家族、地域の命を守るために

まさか、自分の身には起こらない。と考えてしまいがちな災害のこと。まずは、「我が事」と考えましょう。その上で、「まさかの出来事」のときの行動を、このハザードマップで具体的にイメージしてみましょう。それがあなただけでなく「あなたの家族や大切なひと」の命を守る第一歩になるのです。

最善をつくす！まずは町外へ広域避難

利根川や渡良瀬川で氾濫のおそれが高まったときには、自宅や町内にとどまることは危険です。早めに町外へ広域避難しましょう。いざというとき広域避難ができるように、このハザードマップで避難先や避難経路を確認しておきましょう。



命を守る行動を決断できるのはあなたしかいない

災害のおそれが高まった場合には、町は積極的に様々な情報を発表します。しかし、その情報をもとに、避難などの行動を決断・判断できるのはあなただけです。あなたの避難行動に必要な、情報の種類と収集方法を確認しましょう。

みんなで決めてみんなで避難

災害時、自分は大丈夫と思ってしまうものです。いざというときに、ひとりでは避難行動を決断できないことを前提に、家族や隣近所、地域で、声かけなどの「みんなで逃げるルール」を考えておきましょう。

Q2 氾濫したら、境町はどうなる？

利根川や渡良瀬川が氾濫したら、**町の約90%が浸水域**となり、**浸水人口は95%**にのびります。また、**浸水は2週間程度続きます**。

→ 詳しくは4-5ページの「水害特性を知る」へ

Q3 氾濫したらどうすればいい？

浸水が始まる前に**まず“逃げる”**が必要です。利根川や渡良瀬川氾濫のおそれがあるときには、**町外への広域避難が必要**になります。

→ 詳しくは6-7ページの「水害から命を守るために」へ

Q4 いつ逃げる？避難情報とは？

避難が必要なとき、町は避難指示等の避難情報を発表します。**避難情報は、防災行政無線、防災アプリ(sakainfoさかいんふお)等で受け取ることができます**。

→ 詳しくは8-9ページの「避難を助ける情報」へ

Q5 どこに逃げる？

利根川や渡良瀬川氾濫のおそれがあるときは、**町外への広域避難が必要**です。町では広域避難所を確保していますが、より快適な避難のために、**まずは町外で浸水のおそれが少ない地域の親戚・知人宅や宿泊施設・勤め先など、各自で避難先を確保してください**。

→ 詳しくは10-13ページの「広域避難先」へ

Q6 いつ逃げる？避難のタイミング

町からの情報にとらわれず、**危険を感じたら、まず避難**が重要です。

利根川の水位を目安に避難指示等を発表しますが、**大雨により町内が浸水したときに孤立するおそれが高い地域には、より早く情報を発表**します。

→ 詳しくは14-15ページの「避難のタイミング」
16-25ページの「逃げどきマップ」へ

Q7 ひとりで避難できない人はどうすればいい？

災害による犠牲者の多くが、高齢者や身体の不自由な方です。**普段から、家族や地域でどのように避難するかについて話し合っておくだけでなく、いざという時に協力しあうことが大切**です。

→ 詳しくは26-27ページの「地域のちから 自助・共助」へ

境町水害ハザードマップ もくじ

水害特性を知る

4 - 5

水害から命を守るために

6 - 7

避難を助ける情報

8 - 9

広域避難先

10 - 13

避難のタイミング

14 - 15

逃げどきマップ

境地区

16 - 17

長田地区

18 - 19

猿島地区

20 - 21

森戸地区

22 - 23

静地区

地域のちから 自助・共助

26 - 27

浸水想定区域図 / 非常持ち出し品・備蓄品

28 - 29

わが家の防災メモ

裏表紙